

令和2年度 南小学校 特別の教育課程の実施状況について

大泉町立南小学校

1 特別の教育課程の内容

小学校1・2年生において、「外国語活動」を実施する。

近年、国際化・グローバル化が進んでおり、今後その流れはますます大きくなることが予想される。今年度からの新学習指導要領では、3・4年生で「外国語活動」、5・6年生で「外国語科」が新設され、外国語(英語)教育の一層の充実を図ることとなっている。そこで、大泉町内の全ての小学校において、特別の教育課程を実施し、小学1年生の早期から外国語(英語)の学習を始めて、外国語(英語)教育の充実を目指していく。

2 児童アンケートの結果

<質問項目>

①「外国語活動」の時間は、楽しいですか？	92%
②「外国語活動」の時間は、先生や友達とすすんで外国語(英語)で話していますか？	80%
③外国語(英語)であいさつをしたり、外国語(英語)で言ったり、答えたりすることができますか？	82%

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・ゲームをしながら英語を覚えられた。
- ・新しい英語の言葉を覚えてうれしい。
- ・英語で話すのは難しいけれど、楽しい。

3 保護者アンケートの結果

<質問項目>

①小学校1年生から、「外国語活動」の授業を実施することは、外国語(英語)への関心を高めることに役立っていると思いますか？	96%
②お子さんは、「外国語活動」の授業を楽しみにしていると思いますか？	92%
③お子さんは、外国語(英語)であいさつをしたり、外国語(英語)で言ったり、答えたりすることができますか？	76%

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・英語の授業があった日は学んだことをうれしそうに話している。学ぶ楽しみ、自信につながり、より覚えようという意欲につながっている。
- ・家でも英語で返事をしたり、物の名前を言うことができ、楽しく学習している様子が伝わってくる。
- ・1年生からネイティブな発音を聞き、英語に触れる機会があるのはとてもよい。

4 教職員アンケートの結果

<質問項目>

①小学校1年生から、「外国語活動」の授業を実施することは、外国語(英語)への関心を高めることに役立っていると思いますか?	100%
②児童は、「外国語活動」の授業を楽しみにしていると思いますか?	95%
③児童は、外国語(英語)であいさつをしたり、外国語(英語)で簡単な質問に答えたりすることができますか?	75%

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・低学年から英語に触れ、色々な表現を学べてよいと思う。
- ・アクティビティーに夢中になりすぎて、あいさつや質問に答えるところまで至っていないことがある。
- ・特別支援学級の児童は協力学級で授業を受けているが、学習内容が難しいので、特別支援学級対応の授業を設定できるとよい。

5 成果と課題

<成果>

- ・児童は「外国語活動」の授業をととても楽しみにしている。
- ・児童は外国語(英語)でのやりとりを恥ずかしそうにしているも、聞き取れた単語があったときや外国語(英語)での表現が相手に伝わったときには、とても嬉しそうにしている姿が見られる。
- ・授業の様子を「英語通信」という形で保護者に発信することができた。(保護者アンケートでは肯定的な意見が多かった。)
- ・臨時休校に伴った時数削減により例年より時数が少なかったが、休校中に作成した家庭学習用動画も活用して外国語(英語)の学習表現に親しむことができた。

<課題>

- ・「外国語活動」の授業は、ワークシートや掲示物などの準備も多く、ALTとの打ち合わせもあまりできない状況である。
- ・外国語(英語)に対して消極的な姿勢の児童もいるので、時間内に一度は発言する機会を作るなど工夫が必要である。

6 学校関係者(学校評議員)の評価結果

- ・外国籍の児童が多い大泉町に適しており、参観した1年生の授業では、児童は楽しそうに学習している様子が見られた。早急に成果を求めるものではないと感じる。
- ・小さい頃から英語にふれあい、好きになるのは大切なことで、特区の成果が出ている。
- ・せっかくネイティブスピーカーであるALTがいるので、もっと声量がほしい。
- ・これから高学年、中学校へと学年が上がるにつれて、文法など難しい英語の学習内容になってくるが、楽しい英語の授業がどのような系統でつながっていくのかに興味がある。